

星の里・交野の森を歩く (第82回くらわん会 2003/04/01)

星のブランコでわくわくしてみたい方、交野の里に七夕伝説を訪ねてみたい方集合！雨も心配された当日、山小屋風の私市駅前に集合した仲間は110人。原会長の挨拶、50回参加達成の2人を含む多数回参加者の表彰、初参加者の紹介と進む。毛利世話人より今回のコースにふさわしい内容の地域情報誌「まんだ」の寄贈と説明があり希望者に配布される。案内は山本リーダー、詳しい資料に基づき説明にも熱がこもる。

雨の心配はなし！予定のコースと決めて元気良く出発する。星の里いわふねの前を通り、かわぞいの路を進む。天の川の水は澄んでいて、鴨の姿も見られる。森林鉄道風歩道橋にさしかかるところには風流な水車があり、近くには白、ピンクの雪柳が咲き乱れている。府民の森ほしだ園地は、平成9年に行われた2巡目のなみはや国体に合わせて立派に整備された。程なく到着したクライミングウオールやピトンの小屋は、この地が山岳競技の登はん会場になったために作られたものである。早速テスト用の壁によじ登る元気な人もあったが、アップダウンのために汗をにじませた一行は、上着を脱いで調節するなどしばし休憩をとり、元気を取り戻して再出発する。

星のブランコ、本日のコースの大きなポイントである。高所恐怖症で渡らない人も多いのでは？と別のコースまで用意したが、なんとほとんどの人が吊橋を渡る。仲間たちは、さすがに気が若い。平成9年に完成したこの橋は全長280m、最大地上高50mと人道吊橋としては日本最大級である。元気良く渡り始めた元若者たちも、橋の中央付近に来て少し揺れが加わると真剣である。添付の写真をじっくりとご覧あれ。しかし、無事渡り終わると、ほっとしたのか、すぐ近くのほしだ園地でのおいしい昼食の時間となり、親しい仲間同士が思い思いに座り込んで弁当を広げる。

午後は、湿った落ち葉に足を取られないように注意しながら細い山道を妙見方面に下る。うぐいすの鳴き声が聞こえ、木々は新芽を出そうと息吹

京阪私市駅前に百十名が集合、恒例の朝会が始まる



星の里いわふねの前を通り、かわぞいの路を進む



磐船峡に向かって進むと天の川の水は澄んで鴨の姿も見られる



森林鉄道風歩道橋にさしかかるところには風流な水車がある





ピトン小屋への急な登り道に体が汗ばんでくる



ピトン小屋はクライミングの説明やほしだ園地の自然の紹介と休憩設備がある



練習用クライミングウォールに挑戦してみる水島さん



全長二百八十米、高さ五十米の人道吊り橋「星のブランコ」は日本最大級

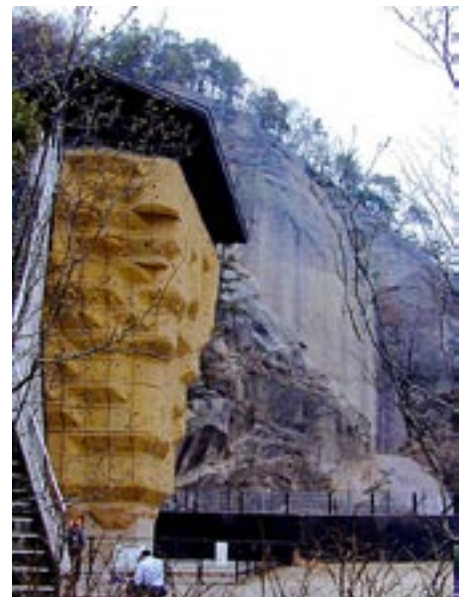
いている。砂防ダムに溜まった清らかな水が気持ちよさを和ませてくれる。

大きな二つの石をご神体として北斗七星を祀り、星が降ったと言う星田妙見宮にお参りし、古を偲ぶ。妙見宮にお参りする石段の近くに細い流れを持つ登龍の滝があります。この滝壺は、昔隕石が落ちたクレーターの跡と言われている。交野が原の七夕伝説、その昔私たちのふるさとのこの地には何があり、どんな営みが行われていたのでしょうか。興味の尽きないところです。

妙見坂の桜は、3分咲きといったところでしょうか。白いもくれんやスモモの白い花とともに私たちを待っていてくれました。しかし、一行は交野の山のアップダウンや妙見宮の石段に疲れてしまったのでしょうか。妙見坂で座り込んでしまいました。ここで一次解散のつもりでしたが、少しの休憩の後、ほぼ全員が次の星田寺（しょうでんじ）を訪ねた後に解散しました。この寺には交野市の文化財に指定されている十一面観音像が祀られています。花曇りの中、さわやかなチャレンジ「星のブランコ」に満足し、交野の山に春の深まりを感じ取り、古の伝説に思いをはせる、そんな楽しい一日でした。

杉浦義次記

平成九年のなみはや国体で山岳競技会場として整備された高さ一六、五米、オーバーハンク二、五米のクライミングウォール





ほしだ園地の名物、交野吊り橋「星のブランコ」別にわたらなくても対岸に行ける



船ほしだ園地「やまびこ広場」の斜面で昼食を摂る



濡れた落ち葉に足を取られないように注意して急坂を星田妙見へ下る



大きな二つの石をご神体として北斗七星を祀り、星が降ったと言う星田妙見宮にお参り



まだ三分咲きだが、気の早い花見客で賑わう妙見坂の櫻の下を行く



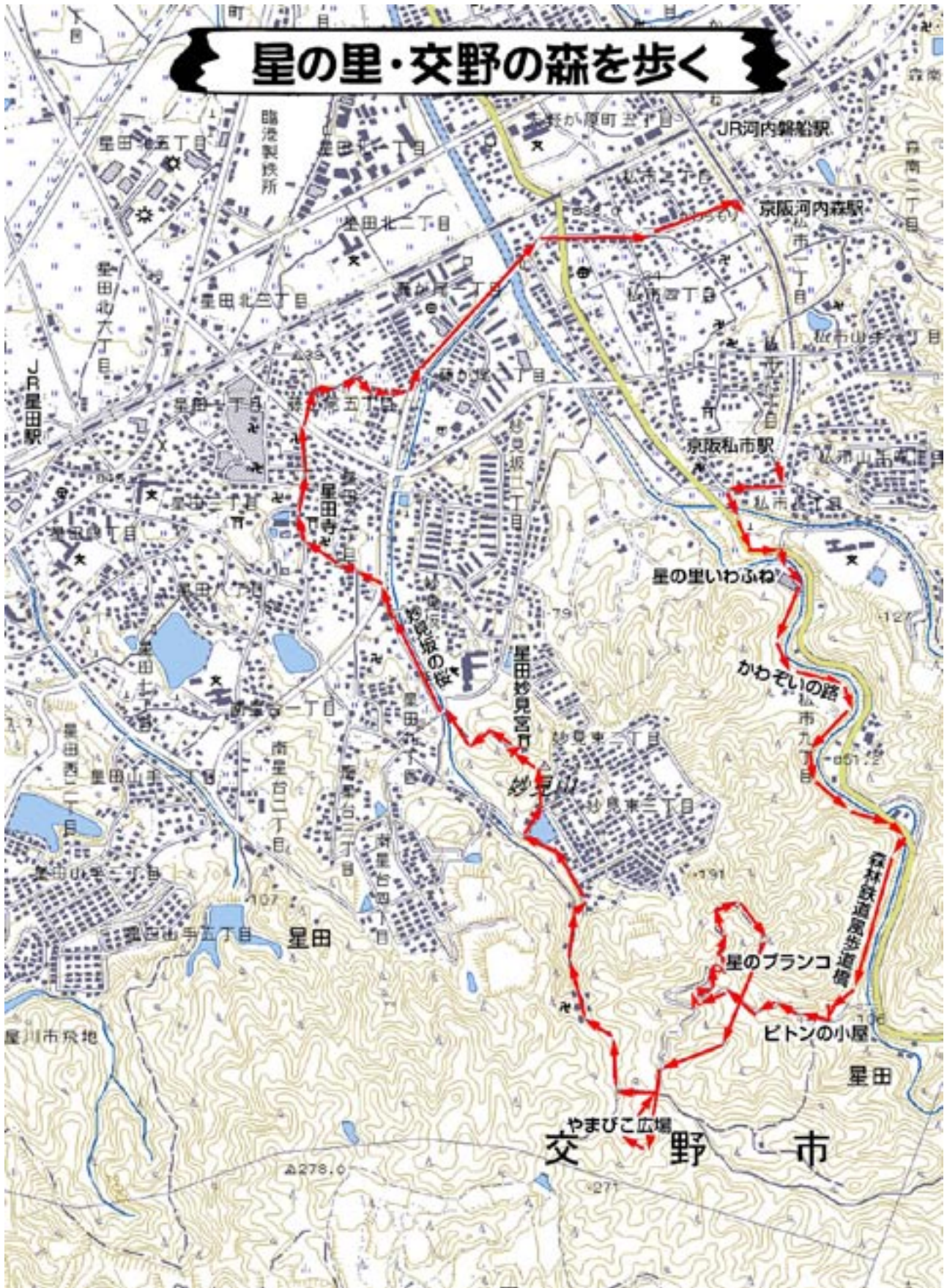
中には満開に近い櫻の花もあった



交野市文化財の十一面観音像が祀られている星田寺(しょうでんじ)



河内森へゆく星田の昔ながらの町並み



星の里・交野の森を歩く

<行程>

京阪私市駅⇒星の里いわふね⇒かわぞいの路⇒森林鉄道風歩道橋⇒ピトンの小屋 ⇒星のブランコ⇒やまびこ広場⇒星田妙見宮⇒妙見坂の桜（一次解散）⇒星田寺⇒京阪河内森駅 約 8.5km

2003年04月01日（火） 第82回例会 110名参加